



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 75 号 2018/6/1 発行）

◆◆ <<https://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

食へのリスペクト

<<https://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2018/20180601watanabe.pdf>>

マルサスはその著「人口論」（1798-1826）で、人口は幾何級数的に増加するのに対して食糧生産（生活資源）は算術級数的にしか増えないので、ある期間経過後、食糧は絶対的に…

＼2. 客員研究員 菅野哲夫 コラム／

革命後 100 年、これから先 100 年後のロシア

<<https://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2018/20180601sugano.pdf>>

はじめに

5月7日、ロシアではプーチン大統領が就任式で宣誓し、通算で4期目となる任期がスタートした。プーチン氏は…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<https://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「旅行収支の黒字拡大に支えられるわが国サービス収支の改善」 中村明
2. 「米エコノミストの今の関心事は何か？」  
～CBE（米ビジネス・エコノミスト会議）参加報告～ 武田紀久子
3. 「アルゼンチンは『炭鉱のカナリア』？」 森川央
4. 「カンボジア総選挙 ～中国依存度が高まる～」 竹山淑乃

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<https://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

《掲載内容》

○IIMA Global Market Volatility Index

(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)

○購買力平価グラフ

(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

## ■今月の新着レポート

### 1. 「ミャンマー経済の動向」竹山淑乃

[https://www.iima.or.jp/Docs/topics/2018/321\\_j.pdf](https://www.iima.or.jp/Docs/topics/2018/321_j.pdf)

ミャンマーの経済は踊り場を迎えており、中期的な成長戦略と第二波の経済改革が求められている。特に、金融レベルが未だ発展途上段階であり、本レポートでは、金融制度を整備する上での課題と取組について論じる。

### 2. 「Recent Developments of the Myanmar Economy」Yoshino Takeyama

[https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No\\_6\\_e.pdf](https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No_6_e.pdf)

「ミャンマー経済の動向」の英語版

### 3. 「Emerging Twin Deficits in the Philippines Economy

～Outlook and Risks～」Reiko Ushioda

[https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No\\_5\\_e.pdf](https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No_5_e.pdf)

「『双子の赤字』に転じたフィリピン経済 ～見通しとリスク」の英語版

### 4. 「党規約改正と憲法改正を経て始動した第2期習近平政権」梅原直樹

[https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No\\_11\\_j.pdf](https://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2018/NL2018No_11_j.pdf)

中国では2018年3月に新政権の布陣が固まり、第2期習近平政権が始動した。本レポートではその動向を概観する。習近平政権は長期化が予想され、アジア・太平洋地域、及びユーラシア大陸の政治・経済に大きな影響を及ぼすとみられる。

## ■今月のIIMA

IIMAでは従来から内外の研修生を受け入れています。今年も米国の大学院より研修生を受け入れます。環太平洋パートナーシップ協定(TPP)などアジアの貿易問題に関心があるとのこと、部長以下研究員たち総出で、実りある研修にしたいと思っています。米国が離脱して行方が危ぶまれたTPPですが、11カ国による署名が実現し、5月には関連法案が衆議院で可決されるなど、批准にむけて着実に前進しています。

このほか各研究員が取り組んでいる外部からの委嘱案件についても、研修実施、報告書作成などさまざまな業務が佳境に入っています。これらの案件に関する情報は順次 IIMA のホームページで公開していきます。引き続き IIMA の活動にご注目下さい。

---

【バックナンバー】

[〈https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html〉](https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html)

【次号】

2018 年 7 月 2 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

[〈https://m.entryform.jp/m/iima/〉](https://m.entryform.jp/m/iima/)

【各種お問い合わせ】

[admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→[〈http://get.adobe.com/jp/reader/〉](http://get.adobe.com/jp/reader/)

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

---

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <https://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.